

51 太刀 1 振

刀身に「八竜寄進兼見」とあり、天文年間（1532—1555）に、関鍛冶刀工の一人である兼見が貴船神社に寄進した、長さ78.3cmもある大型のものです。銘に「守」の1字が判読でき、備中国（岡山県）鍛冶職人「守次」の作であることがわかります。

この刀がどのような経緯で関市にもたらされたものかはわかりませんが、関鍛冶の歴史を考える上で貴重なものです。

豆知識

太刀一刃渡り2尺（約60cm）以上で、刃を下にして緒で腰からぶら下げるものを指します。

関の文化財探訪

その29

51 52

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎ 46-2313

52 脇差 1 通

刀身に「八龍大菩薩」、表銘「丹波守藤原照門」、裏銘「寛文七年正月吉日」があり、寛文7年（1667）に江戸時代前期の関鍛冶代表刀工である照門が貴船神社に奉納した長さ36.4cmの脇差です。

照門は関鍛冶の総氏神である春日神社にも刀を奉納しています。

豆知識

脇差一武士が腰に差す大小2刀のうち、小刀のことをさします。長さは刃渡り1尺（約30cm）以上2尺（約60cm）未満のものを指します。

アクセス

貴船神社へ 長良川鉄道・刃物会館前駅から徒歩約10分
東海北陸自動車道関ICから車で約10分

※⑤①、⑤②ともに公開はしていません。

▲脇差

▲太刀

広報せき No.1621 2012.12.1

発行／岐阜県関市 編集／秘書広報課 〒501-3894 関市若草通3丁目1番地 ☎ 0575-22-3131 〆 0575-23-7744

E-mail hishokoho@city.seki.lg.jp ホームページ <http://www.city.seki.gifu.jp/>

「広報せき」は、ボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある方に音訳（朗読）テープと点字による広報をお届けしています。